

服薬ケア医療学会に入会しませんか？

皆さんは、「薬剤師の医療」とはどんなものなのか、明快に語るができますか？ たとえばお子さんから「お父さん（お母さん）」はどんなお仕事しているの？」と聞かれることはありませんか？ そんな時、何と答えますか？ 子供達だけでなく、国民全体の中でも、何となく「薬の先生」というイメージはあったとしても、実際のところ薬剤師がどんな役割を果たしているのか、国民から理解されているでしょうか？

私たち服薬ケア医療学会は、薬剤師が担うべき医療を探求しています。病院、薬局を問わず、薬物治療の中で薬剤師が何をどう担い、何にどう責任を取っていくのか。それを自分たちが勉強を重ねながら、他の医療者や広く国民に向かって、打ち出して行きたいと願っています。薬剤師が、国民誰からも「無くてはならない存在」として信頼される世の中を目指して、一緒に勉強しませんか？

※当学会は日本薬剤師研修センターから「認定研修実施団体」として認定を受けており、勉強会の参加者には日本薬剤師研修センターの「認定単位」が取得できます。

これからは認定薬剤師が必須！

一般社団法人服薬ケア医療学会は、会員の会費を主な活動資金として運営している非営利型社団法人です。

前身の服薬ケア研究会（2002年設立）以来、全国各地で500回を超える勉強会を開催しております。

☆ お問い合わせ・お申し込み先 ☆

服薬ケア医療学会 事務局

〒305-0042 茨城県つくば市下広岡 410-78

受付用 FAX 03-6368-6058

E-MAIL : jimukyoku@fukuyakucare.org

※入会金なし 年会費 10,000円（学生：3,000円）

服薬ケア医療学会入会申込書（FAX送信用）

FAX : 03-6368-6058

（ふりがな）

生年月日

氏名： 昭和・平成 年 月 日 （男・女） <一般・学生>

〒

自宅 tel

自宅住所：

自宅 Fax

（ふりがな）

薬局薬剤師・病院薬剤師

勤務先（学校）名：

職種（専攻）：（その他）

〒

勤務先 tel

勤務先住所：

勤務先 Fax

郵便物

連絡先（その他）

連絡先（その他）

の送付先（自宅・勤務先）

FAX（自宅・勤務先）

電話（自宅・勤務先）

e-mail : @

卒業大学

学部・学科（最終学歴）：

卒業年 昭和・平成 年

薬剤師名簿登録番号（薬剤師のみ）：

※電子メールにてお申し込みの場合は、上記の内容をすべてメールに記載して、jimukyoku@fukuyakucare.org まで。

※学生の方はこの用紙とともに、学生証のコピーもFAXしてください。

※必ずすべてお書き下さい。（空欄がある場合、ご本人に確認いたしますので、その分手続きが遅れます）

服薬ケア医療学会に入るとどうなるの？

1) 薬剤師の医療の向上のために役に立てます

あなたが会員としてお支払いいただいた年会費は、服薬ケアの普及、講演会の開催、レベルアップのための勉強会、などの開催資金・運営資金となります。つまり、あなた個人としては何もしなくても、会員として会費をお支払いいただくだけで、薬剤師の医療の向上のために役に立つことができます。勉強会参加へのご自身のメリットもありますが、それよりも医療の質的向上のために支援として、会員を継続してくださることを、心よりお願い申し上げます。

2) 服薬ケア医療学会主催の勉強会に会員料金で参加できます。

服薬ケア医療学会主催の勉強会は、多数開かれています。(オンラインでの参加が可能です) 勉強会へは、会員料金で参加することができます。また、会員のみ「5回前払い割引」チケットを利用可能で、割引を利用すると、一般 6,050 円 (オンライン) の勉強会に 3,300 円で参加できます。

また、会員のみ、支払済みの勉強会に欠席した場合、その参加費を次の勉強会に繰り越すことができます。(一般の方は欠席の場合返金や他の勉強会への振り替えは致しません。当日配布した資料をお送り致します)

3) 学会誌、ニュースレターが届きます。

年に数回、会の活動を報告するニュースレター又は学会誌が届きます。自分が参加しなかった勉強会の様子などを知ることができます。また、当面学会誌への論文掲載は、会員は無料といたします。(非会員でも審査の上掲載は認めますが、所定の掲載料を申し受けます)

※学会誌は現在発行準備中です。

4) 学術大会に演題登録できます。

毎年開かれる大会への演題登録は、会員のみとなっております。ぜひあなたも日常における服薬ケア実践の様子や問題点、提案など、発表してください。

5) 自分の勉強したい勉強会の開催を提案することができます。

会員は、自分が勉強したい勉強会の開催を提案することができます。また、自分の地元でリアルな勉強会の開催を提案することも可能です。